



えひめ

Contents

- 報 告 ... 三島川之江港金子地区岸壁（水深14m）供用スタート
瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会総会 in 八幡浜

特集

空港へ行こう！

- コ ラ ム ... 「えひめのみなと素描」スケッチ⑤ ～松山空港～
松山空港ビル(株) 専務取締役 森田省三 氏
- お知らせ ... 「松山港みなとウォッチング」参加者募集！
フレッシュマン紹介



松山港

今治港

三島川之江港

報告

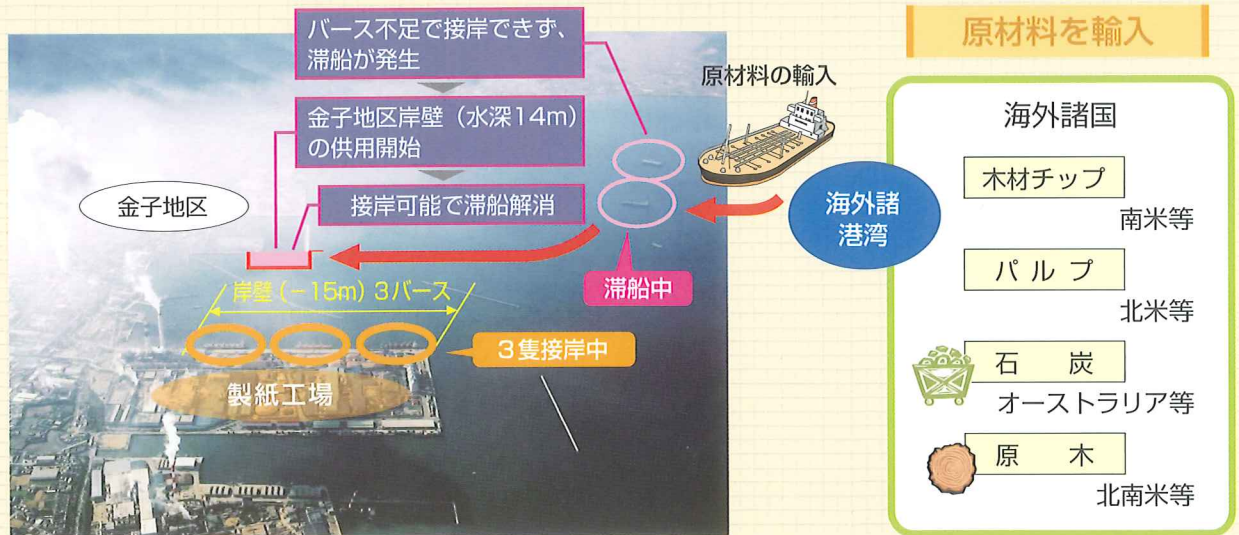
三島川之江港金子地区岸壁（水深14m）供用スタート

約5年の歳月をかけて整備を行ってきた「三島川之江港金子地区岸壁（水深14m）」が、暫定ではありますがこのほど完成し、3月23日（日）に供用式典を開催しました。

当日は、主催者である加戸 愛媛県知事、井原 四国中央市長を始め、県選出の国会議員の方々など多くのご臨席を賜りました。山本順三 国土交通大臣政務官による挨拶のほか、多くの来賓・関係者の皆さまよりお祝いのお言葉をいただき、テープカットとくす玉開披にて盛会の中終了しました。

引き続き行われた記念講演会では、四国中央市出身の宮崎 満 松山大学名誉教授をお招きし、「四国中央市と港」と題してご講演をいただきました。戦前から戦後にかけての三島川之江港の歴史や成り立ちについて、他港との比較をしながら今後三島川之江港はどうあるべきかを、学者として、また一市民として様々な角度から熱く、時にはユーモアを交えて語っていただき、大変有意義な講演会となりました。

本岸壁の供用により、背後に製紙関連企業が集結する三島川之江港において、物流の効率化と地域経済の活性化が期待されています。世界につながる物流拠点への更なる発展を目指し、引き続き整備を進めていきます。



報告

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会総会 in 八幡浜

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(*)の本年度総会が、5月16日（金）八幡浜市で開催されました。会議では、クルーズ船誘致に向けたPR活動など今後の活動指針をより具体的な事業として実行に移すため、「協議会活動指針のアクションプラン（仮称）」を策定し、検討を行っていくことなどが確認されました。引き続き「瀬戸内海首長サミット」が行われ、「瀬戸内海の観光振興方策について」と題して、ナイター海水浴の実施例紹介やみなとへのアクセス改善の必要性など、瀬戸内海地域の更なる観光促進に向けた活発な議論が交されました。

翌17日には市民参加イベント「八幡浜再発見！レトロな町並み散策と宇和海クルーズ」が行われ、地元市民を含め総勢約100名が参加しました。天候にも恵まれ、心地よい潮風を感じながらレトロな香りたどよう町並み（保内町）を散策し、八幡浜名物「じゃこ天」をいただくなど、みなと町八幡浜を満喫できる一日となりました。



▲瀬戸内海首長サミットの様子



▲近代文化遺産群にも認定された「赤レンガ倉庫」（保内町）

*瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内の各地域が一体となり、海を活かした地域づくりを考え実践することにより、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、平成3年5月に設立された。



特集

空港へ行こう!

愛媛の空の玄関口として親しまれている松山空港が、この春、より便利で快適な空間に生まれ変わりました。今回は、そんな魅力いっぱいの松山空港から特集してニュースをお届けします。

利用者にやさしい空港へ

観光バス、タクシー、一般車両等の増加に伴い、慢性的な渋滞が発生していた旅客ターミナルビル前が、スムーズに移動できるようになり、利用しやすくなりました。

ポイント①

最大6台のバスが駐車できるように、観光バス専用の乗降場を整備しました。

ポイント②

さらに、その乗降場から旅客ターミナルビルまでの歩道をガラスの屋根で覆い、雨天時でもスムーズに移動できる構造へ変更しました。

ポイント③

旅客ターミナルビル前面は、渋滞を緩和するため公共交通機関の停留所を再配置し、身障者専用乗降場を設置しました。また、歩道の段差をなくし点字ブロックを設置するなど、バリアフリー化の整備も行いました。

ポイント④

一般車両及びタクシーの乗降場は、路面をオレンジ色で着色するなどして分かりやすく整備しました。

《松山空港の特徴》

市内中心部より西へ約6kmに位置し、松山港とも近接するアクセス良好な空港。

海側から飛行機が進入し、海へ飛び立つ「優先滑走路方式」が採用され、騒音などについて周辺環境へも配慮。

現在は国内線9路線、国際線2路線（ソウル・上海）の定期便が就航しており、搭乗客数と併せて中四国有数の空港へと成長している。

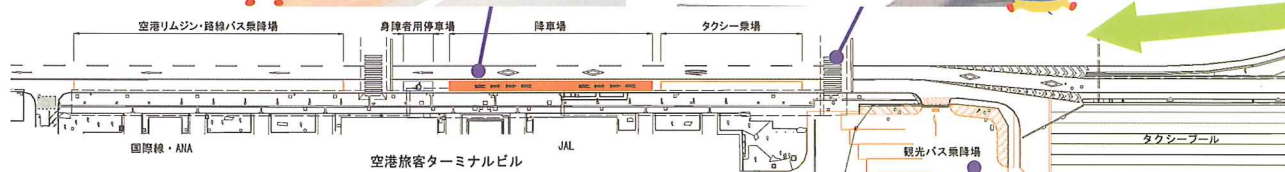
みかん色で分かりやすいね。

ポイント④



ポイント③

段差がなくなりました。



エプロンルーフ



ポイント①②



雨が降っても大丈夫。



ただいま実験中

昨年度より、松山空港には全国で初めての試みとなる「エプロンルーフ」が設置・運用され、その利便性や安全性について検証実験が行われています。

さて、この「エプロンルーフ」とは一体何でしょうか？ 正解は、左上の写真のように伸縮自在のアコーディオンのような形状をした“搭乗口から飛行機へつながるトンネル”です。このエプロンルーフを利用することによって、雨天の場合でも雨に濡れることなく、また、車イスを利用される方も安全かつスムーズに乗降することができます。

今年度は、引き続き実験を継続しながら更なる検証を行い、機能向上を図っていきます。

安全第一

利用者みなさんがその利便性を体感できる部分が整備される一方で、目に見えない部分での整備も行われています。航空機がより安全に離着陸できるよう、昨年度より滑走路の改良工事を実施しています。主に夜間工事となるため、直接みなさんの目に触れることはありませんが、こうした整備が日々の安全運航につながっています。

いかがでしたか？

普段何気なく利用している空港でも、いつの間にかたくさんのやさしさに触れることができます。今後もより一層快適な空間となるよう整備を進め、みなさんに愛される空港づくりを目指します。





松山空港ビル株式会社
専務取締役
森田 省三氏

プロフィール

昭和42年 法政大学卒
伊予鉄道(株)入社

平成11年 伊予鉄道(株)
取締役就任
松山空港ビル(株)
専務取締役就任

松山空港ビル株式会社創立30周年にあたって

松山空港は、昭和31年に松山－大阪線（不定期便）が就航し開港となりました。空港の開港は国家の不退転なる計であります。同時に飛躍を望む県民の悲願でもありました。時代の高度成長策と相まって空港利用者も増えていきました。今日では当時と比べ愛媛の企業も海外へ進出する等、よりグローバル化が進んできました。

平成19年度は国内線9航路、国際線2航路で266万人のお客様にご利用いただいております。そして、同年4月には国土交通省四国地方整備局により、日本で初めてとなる雨にも濡れず車椅子でもスムーズに乗れるエプロンルーフが設置され、利便性・安全性が向上しております。

松山空港ビル(株)は、今年11月で創立30周年を迎えます。このことは、愛媛県民を始め関係ご当局に深く感謝しております。当ビルの開館記念日には、地元南吉田町の皆さんによる餅まき・伊予節等の民謡、近隣の幼稚園児による伊予万歳・鼓笛隊の演奏等を披露していただいております。また、一年を通じ県下の市町村・各種団体・企業・組合等と連携し、観光情報や特産品を全国に発信しています。

今後もさらに地域と調和し、よりグローバル化の進む時代に即応する空港づくりを目指してまいります。



▲空から見た松山空港



▲松山空港旅客ターミナルビル

蛇口からボンジュース！
今年空港ビルにて開催された、
「旬の味覚フェア」の一環です。



▲開館記念日に行われた餅つき

お知らせ

「松山港みなとウォッチング」参加者募集!!



夏の恒例イベント「みなとウォッチング」を今年も開催します！潮風を浴びながら、夏休みの楽しい思い出作りに、みなとを通じての地域学習はいかがでしょうか？

みなさんどしどしご応募ください。ご参加お待ちしております！



対象	小学校5～6年生の児童とその保護者（対象児童の弟妹は就学児以上参加可）
開催地	松山港（定員100名）
開催日	平成20年8月6日(水)
集合場所	松山港湾・空港整備事務所：松山市海岸通2426-1 【所内駐車場完備】
時間	午前8時30分～正午（予定）
内容	●松山港に関する物流施設見学（アイロット） ●松山港付近の海上見学（約1時間）
申込方法	往復ハガキにて下記必要事項を記載の上、下記事務局まで郵送 ※1組につき1件の応募に限る ①参加人数 ②参加児童氏名、年齢、学校名 ③保護者氏名、年齢 ④連絡先住所、電話番号
募集期間	平成20年7月1日(火)～10日(木)（メ切日消印有効） ※応募者多数の場合は抽選
お申込・お問合せ先	みなとウォッチング事務局（電話申込不可） 電話：089-946-8624（10時～17時平日のみ） 住所：〒791-8031 松山市北斎院町637-6（セーラー広告棟内）

お知らせ

フレッシュマンがやって来た！

この4月、事務所としては3年ぶりとなる新規採用者が配属されました。フレッシュマンとしての、今後の活躍にご期待ください！



はじめまして！

名前：江崎 圭佑（22歳）

出身地：香川県さぬき市

趣味：水泳、フットサル

ひと言：4月1日付で採用となり、松山に初めて足を踏み入れました。

知る人はおろか街のつくりさえ分からず、事務所までさまよう毎日です。職場の環境としましてはとても良く、良い先輩方に恵まれたものだと感じております。ただ仕事をなかなか覚えられないことが不安です。上司に教えを請いながらも、多忙である上司のサポートができればと思っておりますが、なかなかうまくはいきません。今は仕事を増やしてばかりです。早く一人前になれるよう日々精進して参りますので、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。



4月1日付で松山港湾・空港整備事務所長を拝命しました中川研造と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

出身地である愛媛県で初めて勤務することになり、着任以来各地の港に足を運ぶ度に、来島海峡を行き交う様々な船を眺めて育った子供の頃を思い出し、懐かしさを感じています。その上、堂々と伊予の言葉を話せる心地よさといったらありません。しかし、そんな気分を吹き飛ばすかのごとく、多くの方から港湾への熱い期待のお言葉をいただき、責任の重さを感じています。

少子高齢化の進展や地方の衰退が進む中、愛媛を取り巻く社会経済情勢も急速に変化していますが、それでも各地域の沿岸部には、独自の技術を有し日本一のシェアを誇る企業や、アジア等との連携を深めつつ世界の市場で高い評価を得ている企業が数多くあります。また、他の地域にはない多彩な歴史や文化を持ち多くの人を引きつけるみなとまちがあります。こうした

資産を活かした地域づくりに時機を逸することなく取り組んでいかなければなりません。

本事務所では、産業活動や人・物の交流を支える港湾整備に加え、瀬戸内海の航行安全の確保やゴミ・油の回収による環境改善、「みなとオアシス」を中心とした交流空間づくり、利用者の安全確保と利便性の向上を図る空港整備、切迫する大規模地震や高潮への対策等を行っておりますが、今後ともそれぞれの意義を地域の方々に十分説明し、ご意見を伺いながら業務を進めてまいりたいと考えております。

「愛媛産には、愛がある」。愛媛の詩人・坂村真民氏が書いた力強い書が印象的なキャッチフレーズですが、「愛媛のみなとにも、愛がある」と胸を張って宣伝できるよう、地域の皆様と協力しながら、港湾・空港の整備を通じた県内の各地域の活性化に愛情を注いで取り組みたいと思います。各位におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所
所長 中川 研造

編集後記

4月より、本誌を担当することとなりました。「やさしい」誌面づくりを目指していきますので、引き続きご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。

愛媛県もいよいよ梅雨入りしました。みなさんの地域ではいかがでしょうか？ 雨女の私、お出かけにはますます雨がつきものとなりそうです…

企画調整課 N

僕ちくぞう。よろしくね!



★★★ おいしい愛媛 ★★★

～八幡浜ちゃんぽん～



八幡浜のソウルフード。野菜たっぷり栄養満点！ かまぼこやじゃこ天などの「練製品」が使われ、八幡浜らしさを味わえます。

－ 事務所位置図 －



〒791-8058 松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161(代表) FAX 089-946-8010



〒799-0402 四国中央市三島紙屋町6-45 四国中央市港湾庁舎
TEL 0896-24-1808(代表) FAX 0896-28-1036